

(案)

あいち自動車産業イノベーションプラン（仮称）の概要

資料 4

目標 自動車技術を進化させ次世代産業分野に対応する強固な企業群の形成と、安心・安全で快適な新しい自動車社会の実現を目指す。
～「脱自動車」ではなく「自動車+α」～

計画期間 平成 24 年度（2012 年）～平成 32 年度（2020 年）
（ただし当面の施策は平成 27 年度（2015 年）までを想定）

【短期目標】
○次世代自動車分野の企業誘致件数 → 平成 27 年度末までに 社
○水素ステーションの設置数 → 平成 27 年度末までに県内に 基設置
○人材育成講座の受講者数 → 平成 27 年度末までに 人
○ものづくり応援ファンド等による支援事例 → 平成 27 年度末 件
【中期目標】
○製造品出荷額の回復・維持 → 平成 32 年度末まで 円
○次世代自動車の普及台数 → 平成 32 年度末までに新車販売台数の %

あいち自動車産業イノベーションプランが目指す 2 つの変革

地域産業のイノベーション

技術力の強化支援

- 「知の拠点」における次世代自動車コア技術の開発
- 産業技術センターにおける中小企業へのコア技術移転支援
- 大学連携（名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センターを始めとする各大学の研究機関）による技術開発支援
- 総合技術高等学校（仮称）等における実践的ものづくり教育の実施
- 次世代自動車に関する学習機会の充実
- あいち技能マイスターを活用した人材育成の促進

経営力の強化支援

- ものづくり応援ファンドの新設による新製品開発・販路開拓支援
- 中堅企業を核とした産産連携グループの活動支援
- 海外市場展開の支援
- 広域連携による販路開拓支援
- 円滑な事業承継の支援

企業誘致の推進

- 高度先端産業立地促進補助金等の優遇制度の充実による次世代産業の誘致推進
- 市町村、地元経済界と連携した誘致活動の強化
- 研究開発環境、教育環境をPRする効果的なプロモーション活動の強化
- 誘致した新分野企業と地域企業とのマッチングの実施

個別企業に対するもの

社会環境のイノベーション

次世代自動車の普及

- 国や市町村と連携した次世代自動車導入に対する支援の充実
- 行政による公用車としての導入拡大
- 企業における業務利用の拡大
- EV・PHVのカーシェアリングやレンタカー・タクシー事業への導入促進
- 一般開放型充電設備の整備推進・情報発信の充実
- 水素ステーションの普及戦略の推進
- 普及・開発支援に対する市民参加を促す仕組みの検討

新ビジネスの育成

- 豊田市家庭・コミュニティ型低炭素都市（スマートグリッド）実証実験の推進
- ITS 技術を活かした社会実験の促進
- 高齢者にやさしい自動車開発支援のための啓発及び実証実験の推進
- ロードプライシングや優先道路・優先駐車場の設置等による社会実験の検討

社会環境に対するもの

支援体制の整備

（県内）

- 自動車産業振興のための庁内総合窓口の設置
- 市町村の広域連携による支援力の強化
- 産業支援機関の連携体制の構築

（広域）

- 次世代自動車地域産学官フォーラムによる広域連携支援の実施
- 中部地域次世代自動車連携推進ビジョンの推進